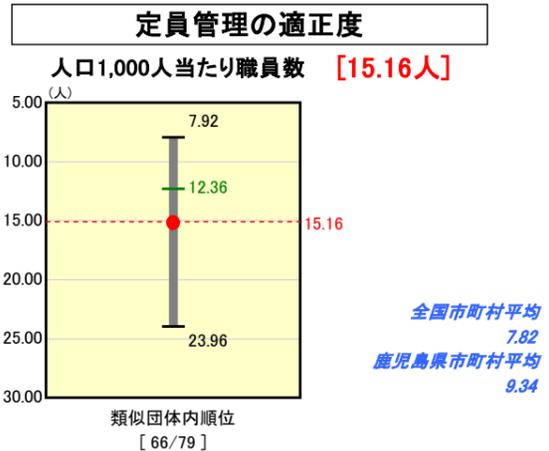
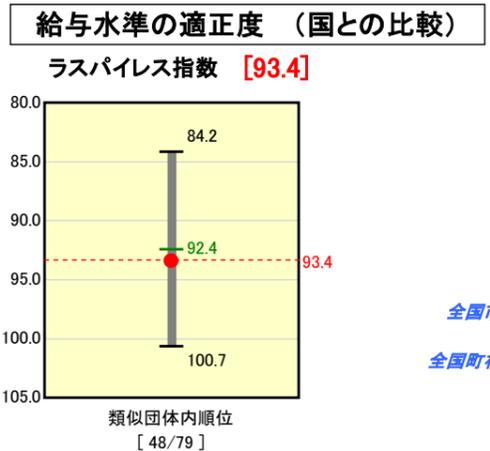
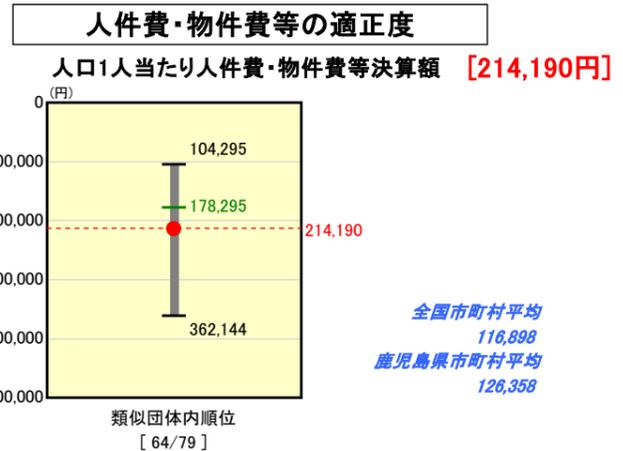
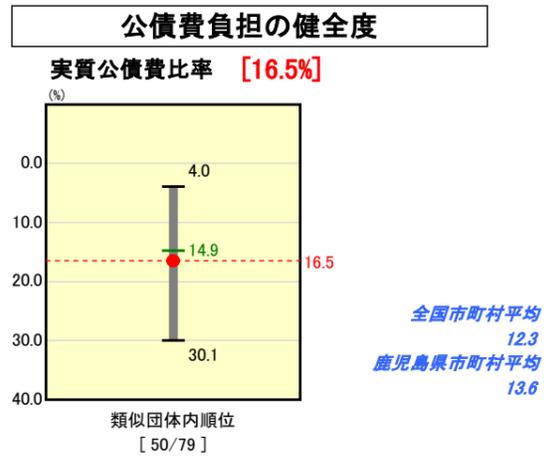
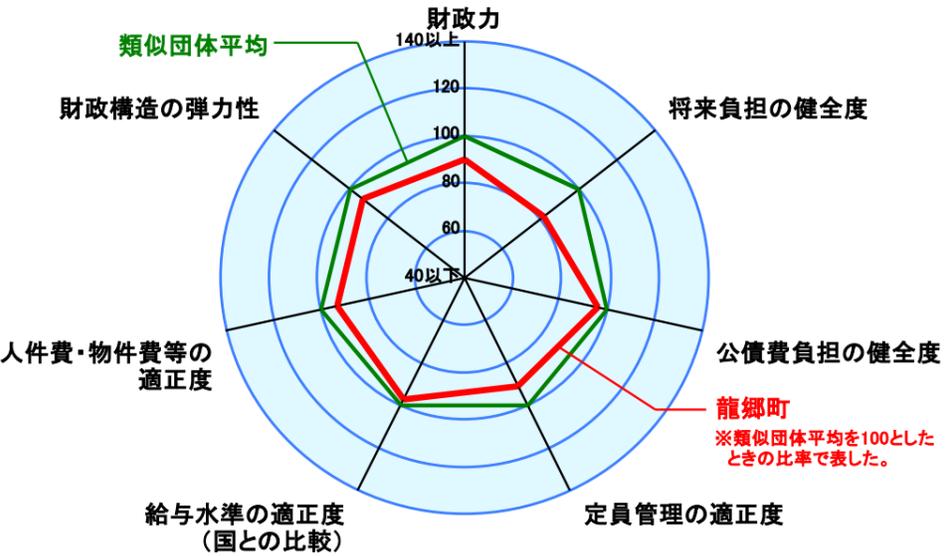
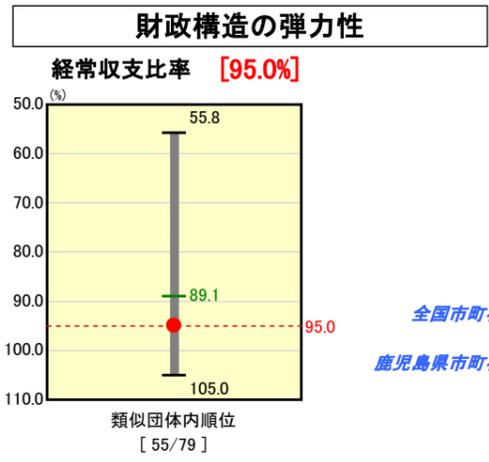
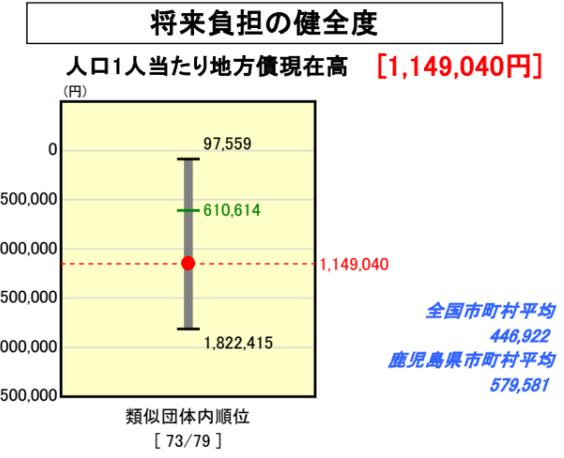
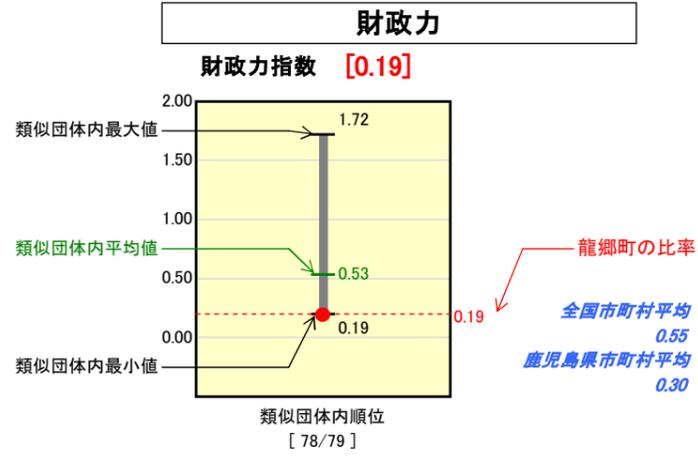


# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 鹿児島県 龍郷町

人口	6,199人	(H20.3.31現在)
面積	82.08	km <sup>2</sup>
歳入総額	3,839,661	千円
歳出総額	3,788,183	千円
実質収支	46,564	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

○財政力指数  
・近年の景気の低迷による個人・法人税の減収の影響から類似団体と比較すると平均を大きく下回っている。このため、職員数の削減による人件費の削減(平成17年度より10年間で12人減)や投資効果・緊急度を勘案した重点かつ効果的な投資による歳出の抑制を実施するとともに税収の徴収向上を中心とする歳入確保に努める。

○経常収支比率  
・扶助費等の増加により前年度比較1.1%の増加となっている。今後とも扶助費等の経常経費増加が予想されるため町税・保険料・各種使用料について収納率を2%以上向上させることにより財源の確保に努めるとともに民間委託・指定管理者制度の活用や公営企業特別会計の使用料の見直しによる繰出金の削減により、今年度より2%低下させることを目標とする。

○ラスパイレズ指数  
・類似団体と比較すると若干平均値を上回っている。平成18年度においては、給与構造改革を踏まえ、級別分類の見直しを実施し、給与の適正化に努めた。今後も各種手当の総点検を行い、より一層の給与適正化に努める。

○実質公債費比率  
・普通建設事業に係る起債の償還等に伴い上昇し、類似団体平均をやや上回っている。今後控えている大規模な事業計画の整理・縮小を図るなど、起債依存型の事業実施を見直し、今後5年間で類似団体の水準である14.9%まで低下させる。

○人口1人当たり地方債現在高  
・類似団体平均値を大きく上回っている。要因としては、これまでの社会資本整備に伴い、地理的条件により建設コストの割高であったことが考えられる。そこで今後は、新規地方債の発行を抑制し、高利率の地方債について積極的に繰上償還を活用し、10年後には類似団体平均の水準となるよう努める。

○人口1,000人当たり職員数  
・平成10年度から15年度の行政財政改革計画において、7人の削減を図ってきたものの、類似団体平均値と比べると平均値より上回っているため、更なる削減が必要である。定員適正化計画により平成17年から10年かけて12人削減しより適切な定員管理に努める。

○人口1人当たり人件費・物件費等決算額  
・類似団体平均に比べ高くなっているのは、人件費が主な要因である。そのため、今後は徹底した事務事業の見直しや町が直営で運営している施設について、指定管理者制度の導入など外部委託を推進してコスト削減に努める。